

チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		朝礼にて、経営理念を唱和し会社の自指す社会的な役割について意識を高めている。経営者は毎日朝礼の挨拶で会社のあるべき姿や考え方を全社員に示し共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		顧問の企画による社内勉強会にて定期的にコンプライアンスに関する研修を行う体制を整えている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		製品販売の方式として代理店制度を採用し、定価もオープンとしているため、不正競争行為とならない仕組みを整備しており、その重要性を社内に周知徹底をしている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		朝礼の場で代表者が社員に向けて自社の事業活動が社会環境に及ぼす影響や可能性について周知徹底を行っている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		取得した商標及び特許証については、顧問弁理士事務所と共同で取り扱いに十分注意した上で専門部署にて管理を行っている。							8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		HP上で個人情報保護、プライバシーポリシーに関する内容を公開しており、個人情報の社外持ち出しは厳禁としている。また、専門部署にてサーバ管理とし、セキュリティに配慮している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		当社に問い合わせ・資料請求があった場合、その地域ごとの代理店に連絡を行い、具体的なお見積り依頼などがあった場合は代理店へご連絡いただく仕組みにすることで、全国各地で顧客へのスピーディな対応を可能としている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー・事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		事業パートナーへの説明会の場を年数回実施し、相互に情報交換を行い不正競争等の防止やコンプライアンスの認知共有を図っている。				5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5		8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		外国人労働者が2名在籍し、雇用条件に差別がないよう徹底している。人権問題に関しては顧問による社内勉強会にて認識の共有を図っている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		社用車にドライブレコーダーを導入し、安全運転につとめている。定期的な社内換気のチェックやエアコンに抗ウイルスフィルターを搭載する等衛生的な職場環境づくりに取り組んでいる。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制の整備等を進めている。また、会社が取得推進する資格リストを130項目以上選定し、資格手当・合格奨励金制度の強化・キャリア形成の促進に努めている。その他福利厚生の充実として、新規共済会への加盟や設置型の社食サービス(冷凍食品)の導入を行っている。					5.5			8.5 8.8		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		2025年 年間休日日数を128日と設計するなど、過度な長時間労働を防止し、休日などに時間外労働を行う必要が出た場合は代休を取得する体制をとっている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		(一社)倫理法人会に所属し、自己啓発セミナーへの参加の場や「職場の教養」などを活用し、能力開発と人材育成に取り組んでいる。また、外部研修の受講や各種資格の取得も奨励している。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎朝出勤時の検温を義務付けており、心身共に不調の場合は通院を推奨している。また毎年1回健康診断を会社負担で実施している。		3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		雇用条件や昇進昇格などに、人種、性別などによる差別的待遇はない			4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		リモートワーク体制へ円滑に切り替わるようにインフラ整備を行い、また会議の際は個別で部屋を分け、三密回避を行ったうえでWEB会議を行える環境としている。		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●						3	4			8	9.1		11	12						
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●							3	4			8	9		12						

チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		当社空調製品に使用する冷媒の処理について、県外の企業と連携し、取り扱いに十分注意した上で廃棄処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所の蛍光灯をLEDライトに交換等を実施し、電力使用量の削減に取り組んでいる。また雨水を植栽への散水に利用したり、太陽光パネル+蓄電池を導入し自然エネルギー利用を行っている。 CO2排出量算出システムを導入しており、同時にエネルギー使用量の把握を行うとともに、その抑制に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		現在、社用車の一部はハイブリッド車を利用し、ガス排出抑制に取り組んでいる。 CO2排出量算出システムを導入しており、排出量の把握を行うとともに、CO2排出抑制に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		当社が製造・販売する輻射式空調と対流式エアコンを組み合わせることで、体感に直接作用する効果により、従来空調よりスペックダウンしたエアコンを選定することを可能としている。そのため省エネ従来の空調方式と比較して最大34%の省エネ効果を発揮するなど、温室効果ガスの排出を抑制する製品を開発・展開することで生物多様性保全に貢献している。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内のごみや資源などは、適正な分別や処理を行い、資源を無駄にしない取り組みを行っている。コピー印刷の際は、裏紙を使用し、紙の無駄遣いを減らす取り組みを行っている。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		雨水を貯水する装置を活用し、清掃の際に活用するなどの取り組みを行っている。 雨水を無動力で純水に処理する「ecowinWATER」を開発し、未利用エネルギーを有効に活用する事業提案及び環境保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・2016年にグリーン購入大賞審査員奨励賞を受賞した輻射式冷暖房システム「ecowin」の製造・品質向上に取り組んでいる。 ・事務所内ではペーパーレス化の取り組みや再生紙の利用を推進している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		2023年に竣工した当社新社屋(地球倫理体現館SDGsLABO)に、高効率太陽光パネルと蓄電池を搭載し、また空調機器のデマンド制御システムの導入によりエネルギー効率の向上に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												11.6 11.a	12.8	13					17.2	

チャレンジ項目記入数 8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製造管理部と品質管理部を設けており、クレームがあった場合は部署間が連携し、原因究明と迅速な改善対応を行い、社内定例会議の場で共有することで製品・サービスの品質向上に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		製品のフチや直接手に触れる部分は丸みを帯びた形状として安心な設計としている。一階ギャラリーは自動ドアと段差のないアプローチとしている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		給気口レジスターの従来品はプラスチック製が主流であることに対し、ヒノキ合板を活用した給気口レジスターを製品化している。 2023年に竣工した当社新社屋(地球倫理体現館SDGsLABO)は、当社のWoodsWall®工法を採用しており、県産材をふんだんに用いた木質建物となっている。							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		脱炭素分野での、温室効果ガス排出量削減の目標と合致した環境にやさしい輻射式冷暖房装置の全国展開及び木質構法の開発・事業化に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		毎朝、朝礼開始前にオフィス内外と前面道路の清掃を行い、地域貢献に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		各年度毎に緊急時連絡表を社員に配布し、災害発生時等の社員の安全確認ができる体制を構築している。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		2023年に無動力で生活用水が確保できる「ecowinWATER」を開発し、販売している。これは近年の地震、台風、水災等の大規模災害時における「生活用水の確保」の観点からのBCP対策という点でも非常に有効性が高く、防災安全協会から「防災製品等推奨品証」の認証を得ている。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		HPのお知らせと公式SNS等で、SDGsの普及啓発を行っている。またSDGsの理解を深めるために定期に社内勉強会を開催している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場連携授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		インターンシップの受け入れ体制があり、学生に対し職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。